

【意見】

SKYLIGHT, EUREKA など筆者が予備知識を得られる啓蒙書（講談社ブルーバックス、中公新書、岩波新書など）をあげてくれると有難い。自分の著書の宣伝にもなります。

東京都 佐藤明達

※2月号で紹介した「意見」ですが、お名前が掲載されていませんでした。おわびいたしますとともに、今回改めて掲載いたしました。

【質問】東京大学理学部天文学教育研究センターとはどんな組織・スタッフで、どんな研究をやっているのですか。

東京都 佐藤 明達

【回答】

天文学教育研究センター（東京大学理学部附属）は、本部を東京都三鷹市の国立天文台内に置き、木曾観測所を長野県木曾郡の山頂に置いて、銀河天文学、恒星太陽物理学、電波天文学の三分野の研究を行っています。そのために独自の中型の観測装置等を維持運営あるいは開発すると共に、国立天文台と密接な関係を保って、大型装置を利用して研究成果をあげています。観測的宇宙論の研究のための銀河の測光、紫外線の強い天体の検出と測光および活動銀河の研究、銀河系の構造の研究、恒星大気物理の分光測光的研究、太陽のX線の研究、赤外線分光測光による星と銀河の研究、銀河系と銀河における星生成領域の分子ガスのミリ波電波による観測的研究などを行っています。105 cm シュミット望遠鏡と天文画像処理装置をもつ木曾観測所は、全国共同利用施設としての運営を行い、年間約1000人日の関連研究者を受け入れ、夜間観測者のための仮眠室と食堂も備えてい

ます。（東京大学理学部附属天文学教育研究センター 石田 蕙一）

【譲ります】

三鷹光器製 26 S 型赤道儀（デジタル表示及び電磁クランプ付き）に、英国製 12 吋 F 15 カセグレン式反射望遠鏡（鏡筒先端を BK 7 並行平面ガラスで覆ったもの）とアメリカ製 6 吋 F 13 屈折望遠鏡（2 枚の平面鏡で光路を折り曲げ、鏡筒を短くしてある）を同架したもの一式。 価格 300 万円。

〒 819-13 福岡県志摩町岐志エメラルドパーク内
坂上 務

【編集部より】

原稿の締切について

「天文月報」の原稿は掲載予定号の月の3か月前の20日が締切です（例えば6月号ならば3月20日）。特に人事公募などはこれに間に合うようお願いいたします。※2月号で「2か月前」とお知らせしましたが、正しくは「3か月前」です。おわびして訂正いたします。

平成4年2月20日
印刷発行

定価 550 円(本体 534 円)

編集委員 佐藤修二(編集長)、一本 潔、梅村雅之、奥村幸子、堂谷忠靖、半田利弘
発行人 〒181 東京都三鷹市国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12 啓文堂 松本印刷
発行所 〒181 東京都三鷹市国立天文台内 社団法人 日本天文学会
電話 (0422)31-1359 振替口座 東京 6-13595